

12 原子力災害から身を守ろう

わたしたちの住む石巻市の近くには女川原子力発電所があります。原子力災害から自分の身を守る方法について考えましょう。

原子力発電所は、電気をつくる所です。しかし、地震・津波によって、原子力発電所の施設がこわれてしまうと重大な事故となります。実際、東日本大震災では、福島県にある原子力発電所で事故が発生しました。原子力発電所にある原子炉がこわれ、大量の放射性物質が外部に放出されたのです。この放射性物質から出る放射線を浴び続けると、人体に悪い影響を与えます。

放射線を浴びないために・・・まずは屋内退避（建物に入ること）

- ・コンクリートの建物の中に入る。

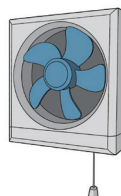


マスクをして、空気を直接吸わない。

- ・うがいをする。
- ・顔や手を洗う。



- ・まどを閉める。



- ・換気せんを止める。

- ・食べ物にはラップをする。
(放射性物質を食べ物に付けないため)



- ・情報を聞く。

○「放射性物質」って、なに？

放射性物質は、放射線を出す能力を持った物質です。この物質はいつまでも同じ量の放射線を出し続けるわけではありません。



○「放射線」って、なに？

目に見えないものですが、物を通過する力があり、体を通過する際に体内の組織や細胞を傷つけて病気になると考えられています。どのくらい浴びると病気になるかは個人差があるので数字に表すことはできません。

ほうしゃせいぶつしつ あ
放射性物質を浴びないために・・・より遠くへ逃げる

事故発生現場から30km以上離れたところへいち早く逃げるのが大切です。石巻市はすべて、原子力発電所から30km圏内になります。石巻市以外の市町村へ逃げるようになります。

逃げる方角や場所については、防災無線やテレビ、ラジオ等で適切な指示があります。また、石巻市のHPで参考となる場所がわかります。情報をしっかりと集め、より安全な場所をその時に判断しなければなりません。



【自分が逃げる場所を調べて書こう】 タブレットで石巻市HPから調べます



原子力災害時における石巻市広域避難計画 - 石巻市
www.city.ishinomaki.lg.jp

ひなんくんれん
避難訓練を振り返りましょう。

くよくできた ◎ できた ○ もう少し △

	放送や指示を聞く	自分の身を守る	災害がおきたときにいかす	考えたこと
4年				
5年				
6年				